

内分泌糖尿病内科【Stage2】

実習の基本方針（目的・到達目標）

a 診療科の特徴

内分泌疾患は日常臨床において見逃されやすい疾患である。当科では日常臨床の中に紛れている内分泌疾患の発見方法とその確定診断にいたる過程について学ぶ。また近年、中高年を中心に高血圧、糖尿病やメタボリックシンドロームなどの代謝性疾患も急増している。内分泌糖尿病内科では、主に内分泌疾患、生活習慣病に関わる疾患を学習する。

b 一般目標

これまでに習得した医学知識をもとに外来および病棟で、総合的に内分泌代謝疾患をとらえることにより診断に至る思考過程を身につける。また、生活習慣病治療の基本となる日常管理を実践する。

c 到達目標

- a. 病歴の把握とプレゼンテーション
- b. 身体的所見の正確な記載と理解
- c. 基本的検査項目の理解
- d. 診断と理論的裏づけ
- e. 治療方針のたて方
- f. 基本的実習のトレーニング
- g. 教員指導による病棟実習

d. 科の到達目標

視床下部・下垂体疾患、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、副腎疾患、糖代謝異常（糖尿病、糖尿病の合併症、低血糖）、脂質異常症、肥満症などの疾患について学ぶ。その過程で、病態と臨床経過を把握し、医療面接と身体診察から得られた情報をもとに必要な検査を、自ら実施し、結果を解釈できる。また基本的治療法の適応を決定し、適切に実施することができる。

2. 実習の方法（内容・行動指針）

病棟、外来において、実際に指導医－上級医－研修医等とともに患者の診察、治療に携わる。あわせてカンファレンスや回診に参加する。

a 実習予定および日程は下記の通りである。入院生活での変化ならびに検査データを理解し、受け持ち患者の情報を診療チームに簡潔に説明できる。

b 内分泌代謝性疾患の病態と臨床経過を把握し、実施した検査について結果を説明できる。また生活習慣病の患者指導を適切に実施することができる。また高血圧症、糖尿病、肥満症

等の適切な診断、適切な治療方針を施行できる。

3. 実習上の注意事項

患者に対しては丁寧に、また、病める人の心を心とした対応に心がける。服装は清潔にする。積極的に問題点をみつけて学び、先輩医師、教員と討議すること、医学用語の使用に慣れること。診断学の教科書を持参すること。

4. 「医学生の実習における医行為と水準」の例示

1) レベルⅠ：指導医の指導・監視の下で実施されるべき

全身の視診、打診、触診、簡単な器具（聴診器、打腱器、血圧計など）を用いる全身の診察、心電図、超音波検査、静脈採血、耳朶採血、血糖測定、皮内・皮下・筋肉・静脈注射

2) レベルⅡ：指導医の実施の介助・見学が推奨される

動脈血ガス分析、中心静脈穿刺、輸血

【スケジュール】

内分泌糖尿病内科 クリニカルクラークシップ (Stage2)

【第1週スケジュール】

曜日	担当教員	実習内容 (午前)	実習内容 (午後)
月	教員・医員	診療実習 (外来. 病棟)	診療実習 (外来. 病棟)
火	教員・医員	診療実習 (外来. 病棟)	診療実習 (外来. 病棟)
水	教員・医員	診療実習 (外来. 病棟)	診療実習 (外来. 病棟)
木	教員・医員	診療実習 (外来. 病棟)	診療実習 (外来. 病棟)
金	教員・医員	診療実習 (外来. 病棟)	診療実習 (外来. 病棟)

【第2週スケジュール】

曜日	担当教員	実習内容 (午前)	実習内容 (午後)
月	教員・医員	診療実習 (外来. 病棟)	診療実習 (外来. 病棟)
火	教員・医員	診療実習 (外来. 病棟)	診療実習 (外来. 病棟)
水	教員・医員	診療実習 (外来. 病棟)	診療実習 (外来. 病棟)
木	教員・医員	診療実習 (外来. 病棟)	診療実習 (外来. 病棟)
金	教員・医員	診療実習 (外来. 病棟)	まとめ

*1週目の月曜日 9:30 に内科外来に集合

*スケジュールは患者さんや診療や新型コロナウイルス感染などの状況により変更になる可能性がありますので随時 deepmail をご確認ください。

膠原病内科【Stage2】

1. 実習の基本方針

ベッドサイドでリウマチ・膠原病の患者と接し、実際の診療を通じて、リウマチ性疾患にみられる症状や検査異常、合併症、治療法などの知識を深め、医師の考え方や患者の立場・心理状態などに関しても理解する。

a) 一般目標

実際の診療を通じて系統講義や教科書で学んだリウマチ性疾患に関する基礎的事項を再確認するとともに、より深く実践的な知識や技能の獲得を目指す。

b) リウマチ膠原病内科としての到達目標

- ・問診や診察、検査結果など診断につながるポイントを理解し、実臨床で活用できる
- ・個々の症状や所見について、疾患横断的に考えて鑑別診断を挙げることができる
- ・リウマチ性疾患におけるステロイド投与方法や副作用について理解する
- ・免疫抑制剤や新規の分子標的薬を含めたリウマチ性疾患治療の概要を理解する
- ・実際の診療を通じて、個々の患者に応じた最適な治療について考えることができる

2. 実習の方法（内容・行動指針）

病棟、外来実習において、実際に担当医とともに患者の診療に携わる。カンファレンスに参加し、診断や治療について上級医とディスカッションを行う。担当した症例について、事前に上級医より指示のあった考察ポイントをまとめて、最後にレポートして提出する。学外病院実習（大分赤十字病院）も行うことで、様々なリウマチ性疾患の症例を経験する。

3. 実習上の注意事項

発熱や感冒症状がある場合など、体調不良時には実習参加を控え、医局、学務に連絡をする。清潔な白衣、服装を着用し、診察前後の手・指の衛生的手洗いを行う。患者に不用意な言動は慎み、誠実な態度で接する。予後や治療方針などの質問には答えず、検査データなど患者情報の取り扱いには十分注意し、外部に持ち出すことはしない。新型コロナウイルス感染の状況などによって実習内容の変更があり得ることを了承下さい。

4. 「医学生の臨床実習における医行為と水準」の例示

1) レベルⅠ： 指導医の指導・監視下で実施が許容されるもの

全身の視診、打診、触診、心電図、超音波、静脈採血、皮内・皮下・筋肉・静脈注射

2) レベルⅡ： 指導医の実施の介助・見学が推奨されるもの

関節穿刺、中心静脈穿刺、動脈血液ガス分析

【第1週スケジュール】

曜日	担当教員	実習内容（午前）	実習内容（午後）
月	教員・医員	オリエンテーション 病棟実習	病棟実習 膠原病カンファレンス
火	教員・医員	外来実習	病棟実習
水	教員・医員	学外実習	学外実習
木	教員・医員	病棟実習	病棟実習
金	教員・医員	病棟実習	病棟実習

【第2週スケジュール】

曜日	担当教員	実習内容（午前）	実習内容（午後）
月	教員・医員	病棟実習	病棟実習 膠原病カンファレンス
火	教員・医員	外来実習	病棟実習
水	教員・医員	学外実習	学外実習
木	教員・医員	到達目標の評価、まとめ	病棟実習
金	教員・医員	病棟実習	病棟実習 レポート提出〆切

- *1週目の月曜日 11時に内分泌代謝内科・膠原病・腎臓内科学講座の医局に集合。
- *1週目の月曜日が祝日の時は、翌日火曜日 8時30分に内分泌代謝内科・膠原病・腎臓内科学講座の医局に集合（月曜日と時間が異なる事に注意）。
- *学外病院実習は大分赤十字病院リウマチ科にて行う予定だが、変更があり得る
- *スケジュールは診療や新型コロナウイルス感染などの状況により変更になる可能性があるため、DEEP Mailを定期的にチェック頂きたい。

腎臓内科【Stage2】

実習の基本方針（目的・到達目標）

これまでに習得した医学知識や社会常識をもとに外来および病棟で直接患者に接して病歴を聴取し、身体的所見を把握、総合的に疾患をとらえることにより診断に至る思考過程を身につける。また、症例呈示の方法を学ぶ。

病歴の聴取と記録

身体的所見の正確な把握と記載

基本的検査項目の理解

診断と理論的裏づけ

治療方針のたて方

基本的実習のトレーニング

教員指導による病棟実習

2. 実習の方法（内容・行動指針）

<外来診療実習>

病歴聴取、身体的所見など内科診察に必要な基本的診療能力を習得する。

<病棟実習>

指導医師の監督のもと、研修医とともに病棟の診療を経験する。受け持ち患者のカルテを作成し、病歴、現症、診断さらに治療および問題点について記載する。個々の症例について、まとめにカンファレンスで発表し、発表能力、討議に習熟する。

<透析室実習>

透析室にて、透析導入および回収時の見学、維持透析中の管理について習熟する。

<学外実習（大分赤十字病院、別府鶴見病院、別府医療センター）>

腎臓内科診療での手技（シャント PTA、内シャント手術、腎生検、etc）を中心に、実地での臨床を経験する。

3. 実習上の注意事項

患者に対しては丁寧に、また、病める人の心を心とした対応に心がける。服装は清潔に、時間は厳守。積極的に問題点をみつけて学び、先輩医師、教員と討議すること、医学用語の使用に慣れること。診断学の教科書を持参すること。

4. 「医学生の実習における医行為と水準」の例示

1) レベル I： 指導医の指導・監視下で実施が許容されるもの

全身の視診、打診、触診、簡単な器具（聴診器、打腱器、血圧計など）を用いる全身の診察。心電図、超音波検査、静脈採血、耳朶採血、皮膚消毒、包帯交換、外用薬塗布、気道内吸引、ネブライザー、抜糸、止血、気道確保（エアウェイによる）、人工呼吸、酸素投与、胃管挿入、皮内・皮下・筋肉・静脈注射

2) レベルⅡ： 指導医の実施の介助・見学が推奨されるもの
 動脈血ガス分析、気管内挿管、心マッサージ、電氣的除細動
 血液透析、腎生検、輸血、中心静脈穿刺

【スケジュール（腎臓内科 Stage2）】

第1週目

曜日	担当教員	実習内容（午前）	実習内容（午後）
月	教員・医員	オリエンテーション/病棟実習	病棟実習
火	教員・医員	<学外 or 問題集>	<学外 or 問題集>
水	教員・医員	病棟実習	問題集解説
木	教員・医員	<学外 or 問題集>	<学外 or 問題集>
金	教員・医員	病棟実習	病棟実習

第2週目

曜日	担当教員	実習内容（午前）	実習内容（午後）
月	教員・医員	外来実習	病棟実習
火	教員・医員	<学外 or 問題集>	<学外 or 問題集>
水	教員・医員	<学外 or 問題集>	<学外 or 問題集>
木	教員・医員	透析室	問題集解説
金	教員・医員	病棟実習	病棟実習/まとめ

*オリエンテーション：第1週目 AM9:00、内分泌代謝内科・膠原病・腎臓内科学講座医局に集合して下さい（月曜日が祝日の際は火曜日のAM9:00に医局に集合してください）。

*スケジュールは患者さんや診療などの状況により変更となる可能性があります。

*学外病院実習は大分赤十字病院腎臓内科、別府鶴見病院腎臓内科、別府医療センター腎臓内科にて行う予定です。ただし、新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては学外実習、病棟実習、外来実習、透析室実習は行うことができない可能性があり、その場合は国家試験対策問題集の解説などを行います。